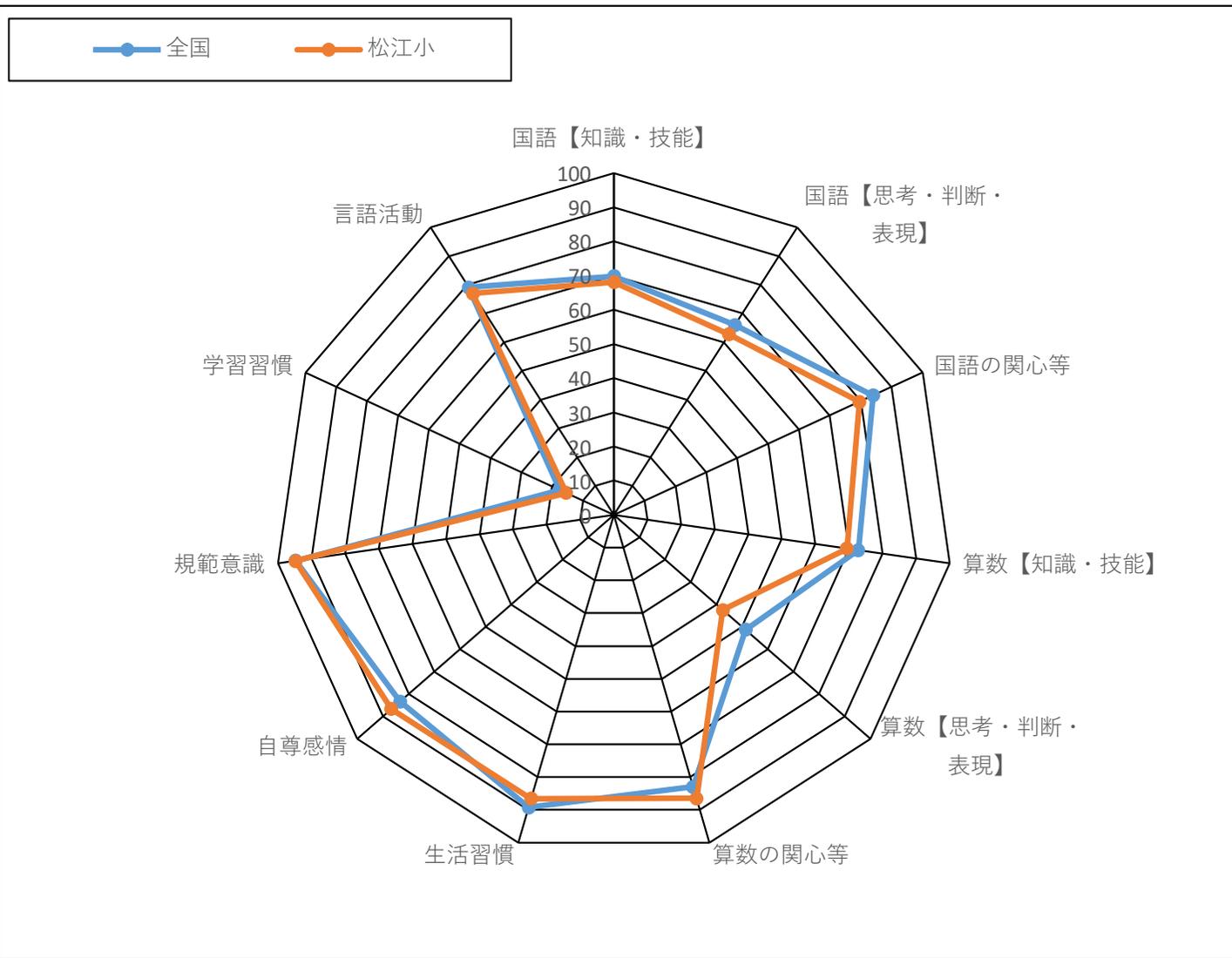


令和6年度全国学力・学習状況調査結果における課題分析表

●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の本校の様子



【現状把握】
 国語は、【知識・技能】【思考・判断・表現】共に全国平均を下回る結果となった。傾向として、文章の全体像を捉えながら読むことに課題があることが分かった。また、漢字を書くことに関しては全国平均を大きく下回っている。
 算数も、【知識・技能】【思考・判断・表現】共に全国平均を下回る結果となった。式の意味を理解し説明する事に課題がある他、公式の理解や「速さ」といった概念の理解などにも課題があることが分かった。

【授業改善のポイント】
 ●国語・算数共に、文章を読み意味を正しく理解することに課題があることが分かった。自力で文章の意味を正しく理解できるようにするために、以下の2点を行っていく。
 ①課題を自分で読み取る時間を作り、見通しをもって学習に取り組むようにする。
 ②読書や教科書の音読の時間を活用し、文章の意味を考えながら文を読むようにする
 ●国語では、段落ごとの内容を捉えながら読むことや、文章の要点を意識しながら読むことを授業で確認していく。
 ●算数では、既習事項を正確に使えるように、ガイダンスや授業の導入を工夫する。また、どのクラスでも課題解決を自力で行えるよう、少人数指導を生かし、児童相互の学び合いや、個別指導の充実を図る。

【チャートの特徴】
 【関心】に関しては算数が全校平均を上回り、国語が下回る結果となった。【知識・技能】【思考・判断・表現】は、全国平均と比べ低い結果となった。
 「児童質問紙」における児童の学習状況調査の結果から、【自尊感情】は全国平均を上回った。一方、【学習習慣】【言語活動】【生活習慣】に関しては、全国平均を下回る結果となった。

【家庭・地域への働きかけ】
 保護者会、個人面談や健康生活カード、家庭学習キャンペーンでの機会を通して、早寝早起きなどの生活習慣や家庭学習時間の確保を含めた学習習慣の見直しを引き続き啓発していく。